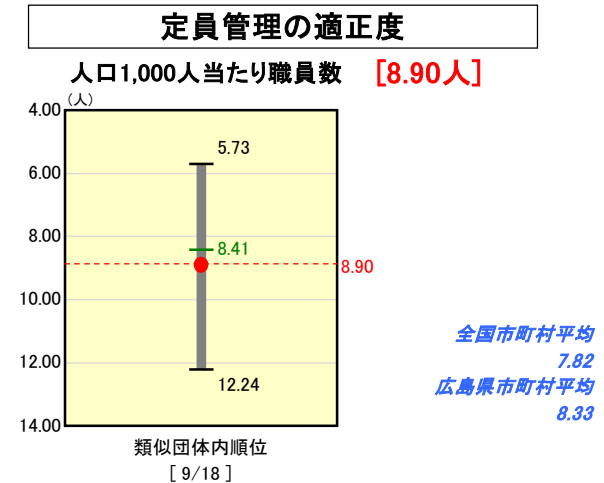
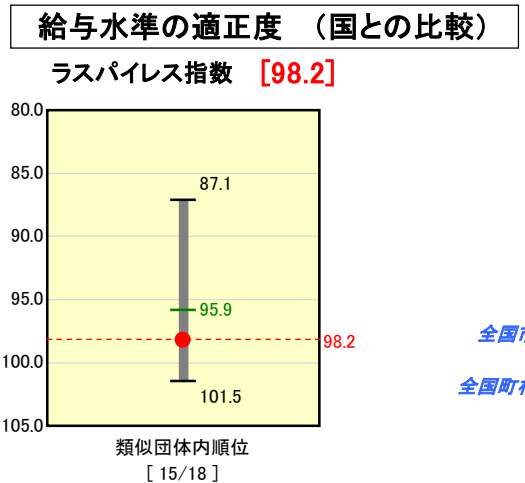
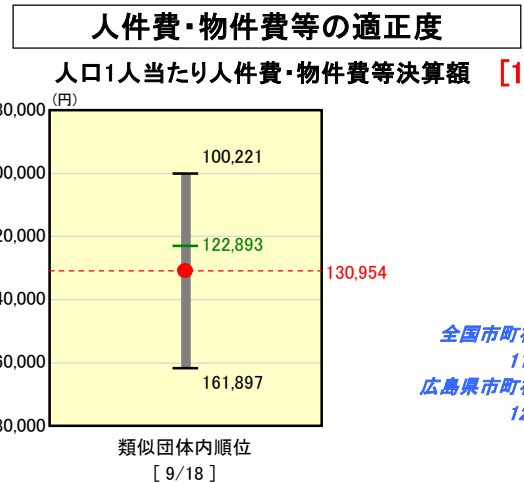
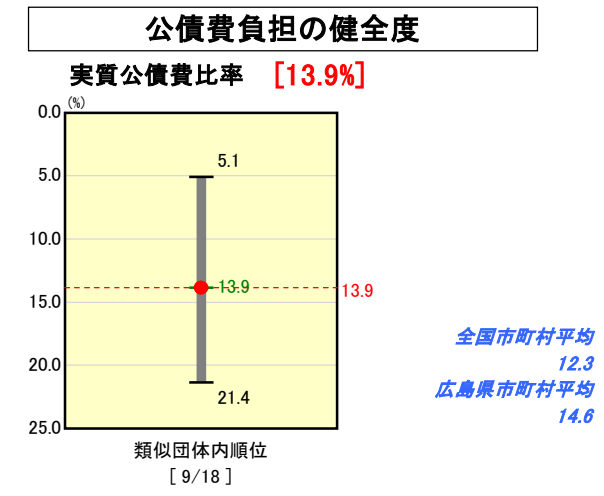
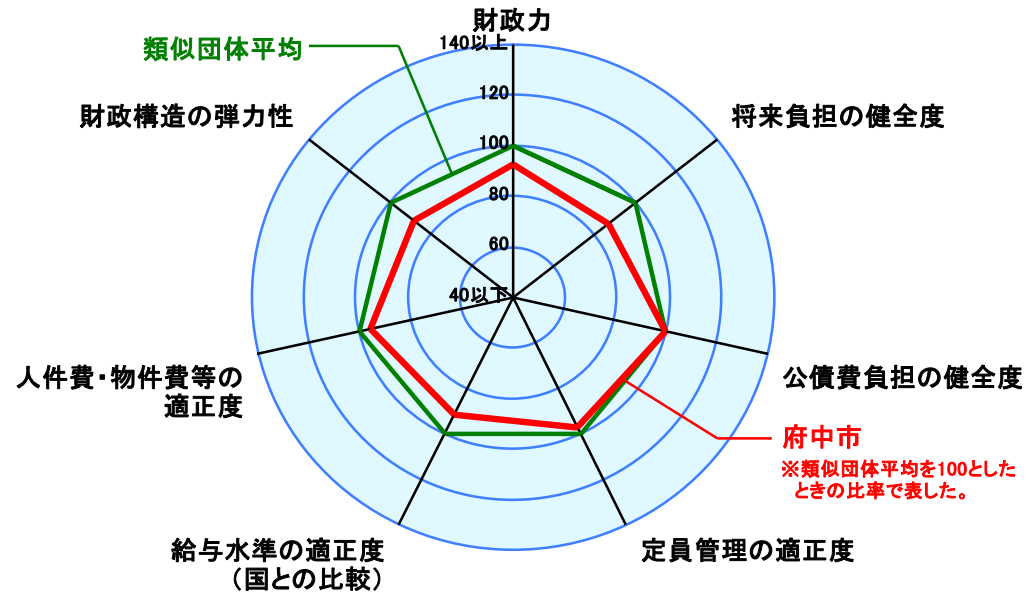
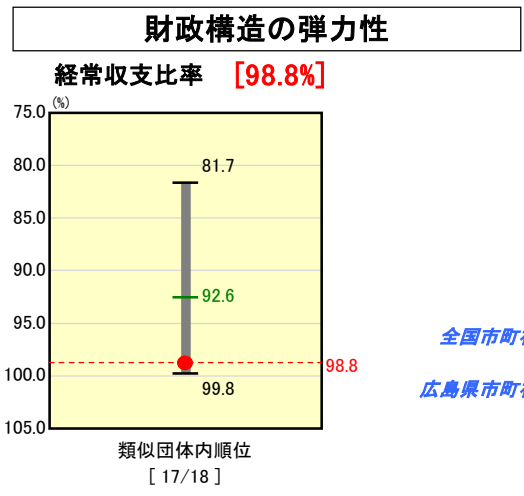
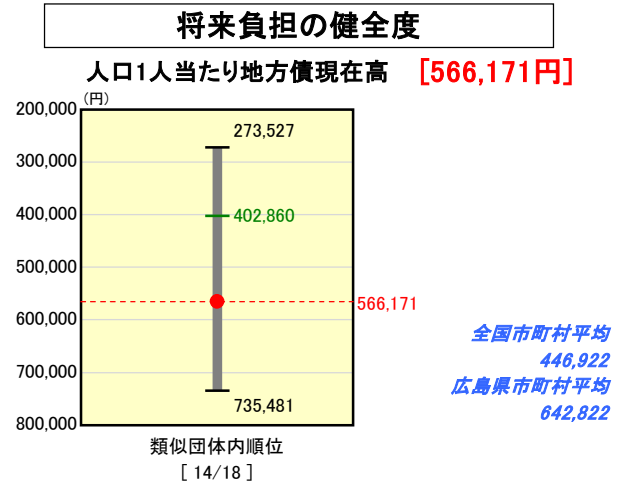
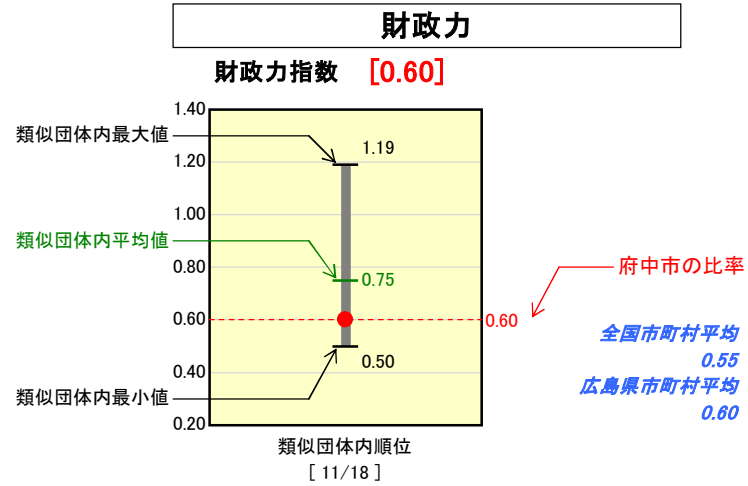


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

広島県 府中市

人口	45,149	人(H20.3.31現在)
面積	195.71	km ²
歳入総額	21,675,345	千円
歳出総額	21,195,184	千円
実質収支	434,429	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
・昨年に引き続き税収が所得割、法人税割を中心に順調に推移し0.03ポイントの伸びとなった。今後も、税収確保に努める。

【経常収支比率】
・税収が前年度に比べ8億円増と好調であることと退職手当償が定年退職者にも1億円充当できたため、1.0ポイントの減となった。一方、合併に伴う大型事業の償還が随時開始となり公債費が約1億円増と高率で増えており、プライマリーバランスを下回る事業執行計画が必要である。また、同時に職員数の適正化など集中改革プランを着実に実行し、経常経費の抑制に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
・昨年度に比して、人口1人あたり8,311円の減となり集中改革プラン実施の成果が現れ県内市町村平均値に近づいている。平成20年度予算から試行した枠配分方式による予算編成など、引き続き経費削減を図る。

【ラスパイレス指数】
・集中改革プランに掲げる人件費の削減を着実に実行するとともに、新規採用者の格付け引き下げや、昇格制度の見直し等により、指数を全国市平均値に近づけていく。

【人口1人当たり地方債現在高】
・合併特例事業債の発行により、平成22年度までは増加の見込みである。今後は事業の選択を徹底し、起債発行額を償還元金以内に抑制するよう努める。

【実質公債費比率】
・平成19年度算定から都市計画税を公債費に充当することが可能となり、3.7ポイントの大幅減となった。しかし、公債費自体は昨年度より1億円増加しており、当市の財政状況を圧迫している要因となっている。公的資金補償金免除線上償還制度を積極的に活用するなど、公債費の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・集中改革プランに基づき、平成17年4月1日現在の職員数445人を平成22年4月1日に398人とする(病院事業会計除く)。なお、将来的に職員1人当たりの住民管理数を105人とするため、平成19年度から新規採用者の補充を定年退職者の3割程度としている。